



## “世界初” 70型8K映像モニターを医療分野に展開 8K硬性内視鏡システムへ活用

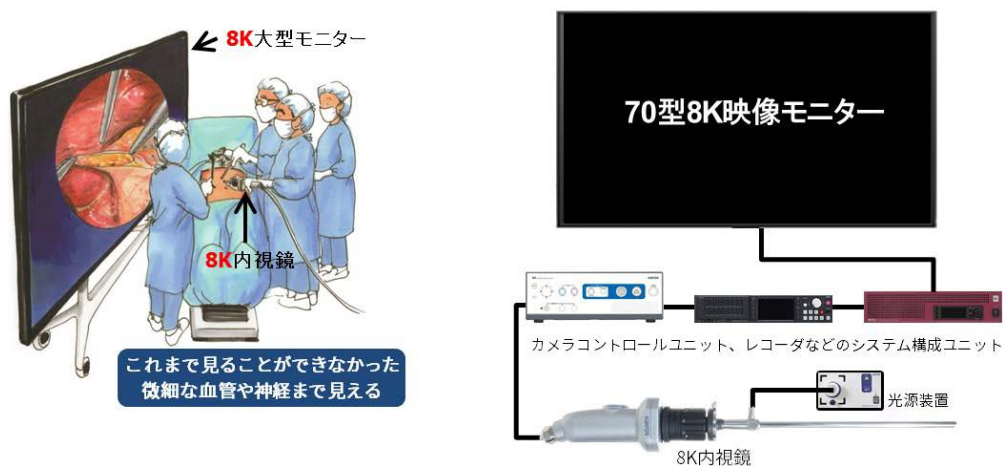
シャープは、世界初となる「8Kエコシステム」の医療分野への展開として、カイロス株式会社（社長：上野 直樹、本社：東京都千代田区、以下「カイロス社」という。）が開発した8K硬性内視鏡<sup>※1</sup>システム向けに、70型8K映像モニターの納入を開始しました。

当社が納入する70型8K映像モニターは、カイロス社が開発し、本年11月頃より医療現場への設置が見込まれる8K硬性内視鏡システムの表示装置として活用されます。同社の世界最小・最軽量の8K硬性内視鏡カメラと、フルハイビジョンの16倍の解像度を持つ当社の8K液晶パネルを採用した本モニターを組み合わせることにより、インプットからアウトプットまで8Kの医療環境が実現します。視力4.27<sup>※2</sup>に相当する超高解像度の映像により、顕微鏡手術や小切開手術への応用が期待されるとともに、細胞レベルの観察により術中病理診断も可能となります。

当社は、本年5月に公表した「2017～2019年度 中期経営計画」のキーワードとして、「8Kエコシステム実現に向けたトランスフォーメーション」を掲げています。医療分野に留まらずさらに様々な分野へ8K技術を展開することにより、「8Kエコシステム」の早期構築に向けて、取り組んでまいります。

なお当社は、70型8K映像モニターを組み込んだ硬性内視鏡システムを、10月3日から幕張メッセで開催される「CEATEC JAPAN 2017」の当社ブース（「家・ライフスタイル」エリア 3ホール H117）に出展します。

### 8K硬性内視鏡のイメージと構成図



- ※1 硬性内視鏡：筒の両端にレンズを装着する内視鏡。膀胱鏡、胸腔鏡、腹腔鏡などがある。
- ※2 ハイビジョンを視力1.07相当とした場合。